

市報

No.611

平成 22 年 (2010) 5 月 15 日発行

発行人：飯山市長 石田正人
編集：飯山市役所総務部
庶務課秘書広報係
〒389-2292 長野県飯山市
大字飯山 1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
E-mail：kikaku@city.iiyama.nagano.jp

もくじ

第27回いいやま菜の花まつり開催・・・・・・・・・・2ページ
飯山寺まち交流館 高橋まゆみ人形館開館・・・・・・・・・・3
第126回 長野県市長会開催・・・・・・・・・・4
市職員上級（行政）中級（保育士）募集・・・・・・・・・・5
米持邦雄青少年育成基金助成団体募集・・・・・・・・・・6
創意と工夫で「層」の「ごみ減量」を・・・・・・・・・・8
「いいやま灯籠まつり」ダンス参加チーム募集・・・・・・・・11

第27回いいやま菜の花まつり

期間中だけで約2万5千人が来園

5月3日から5日までの3日間、飯山市菜の花公園で「第27回いいやま菜の花まつり」が行われました。

今年は順調な雪解けでしたが、4月中の天候不順により、期間中の開花が心配されました。菜の花を育ててきた地元「菜の花さかせるかい」の連日の作業のおかげで、黄色い菜の花が多く来場者を迎えることができました。

農業青年クラブ（4Hc）が、ふるさとの情景をよみがえらすため、子どもが楽しめる場所をつくるために瑞穂の丘陵にある菜の花のもと、初めてイベントを開催してから27年の時がたちました。

「菜の花さかせるかい」は農業青年クラブが目指した精神を引き継ぎ、年間をつうじた作業の結果、今年も満開の花が咲き誇り、訪れた人々にふるさとの原風景を提供し続けています。

「いいやま菜の花まつり」は今年、旅の専門家による「大型連休に行きたい花の名所ア



↑ 菜の花まつりの開幕を告げる東小学校の鼓笛隊パレード。満開の菜の花のなかさっそうと行進。



↑ 好天にも恵まれ菜の花公園は連日の大にざわい。思い思いに飯山の春を楽しんでいました。



↑ 27組が参加した菜の花まつりのメインイベント「朧月夜音楽祭」。夏を思わせる日差しの中、大勢の方が耳を傾けていました。



↑ 「朧月夜音楽祭」のアトラクションには、同じ菜の花まつりを開催する青森県横浜町「横濱よさこい菜の花組」が華を添えました。



↑ 大人気！子ども達も参加しての餅つき大会。菜の花さかせるかいの催しのひとつ。



↑ 瑞穂と常盤の菜の花をつなぐ「菜の花渡し舟」今年で3年目の運航。



↑ 菜の花を見ながらの野だて。

飯山市寺まち交流館 高橋まゆみ人形館開館



開館をまえに関係者によるテープカットが行われました。

開館から10日間で1万人超の入館者

北陸新幹線飯山駅開業を控え、回遊性のあるまちづくり（まちなか観光）の拠点となる「飯山市寺まち交流館（愛称 高橋まゆみ人形館）」が4月24日（土）開館しました。

開館に先だち行われたセレモニーでは、今後施設を自主運営する信州いいやま観光局の足立正則理事長のあいさつに続き、関係者によるテープカットが行われました。

入館口付近では開館を待ちわびた多くのお客さんが並び、関心の高さが伺われました。

「高橋さんの人形をみるために北海道から車で来ました」と高橋まゆみ人形館の前で記念写真を撮り終ったご夫婦は急いで入館希望者の待つ列に加わっていました。

開館の午前9時には、人形館の周りに多くの入館希望者の行列ができ、一番先頭に並んだ方は、東京で開催された「高橋まゆみ人形展」には入場できずに悔しい思いをしたため、午前4時に神奈川県を出発して飯山市の高橋まゆみ人形館開館に駆けつけたそうです。

他のかたがたにも声を聞かせていただくと、「安曇野市から」「大町市から」・・・と飯山市内はもちろんのこ



約100体の人形が展示され、入館者は熱心に作品に見入っていました。

館内には約100体の創作人形が展示され、むかし懐かしい風景のなかで優しくほほ笑みかけてくるものや、物語を連想させるものなどさまざま



観光ガイドボランティアの皆さんがお待ちいただく方に「お節介マップ」（名所・お店等案内）などを配布。

市長の

悠久のふるさとづくり ②

飯山市長 石田正人



桜の花が咲き、飯山の象徴ともいえる菜の花も咲きはじめ、春の日差しが日一日と強くなり始めました。そんな矢先に突然雪が降る事態となり、今年の天候はどうなるかとみなさんの不安な声が聞こえてきます。

空の足の乱れを引き起こしたアイスランドの火山噴火や、中国での大地震をはじめ、世界各国でも自然災害が発生しています。自然の猛威の前に人間は無力であり、今後どんな自然災害が発生するのか心配されます。

日本も政権交代で新しい国づくりがはじまると大きく期待し、その施策に共鳴したり、逆に問題意識を感じているなかで、政権の混迷も心配になってきました。

家庭や地域集落も、市や国も同じで、お母さんのおなかの中で胎動を起こして赤ちゃんが産まれ、次世代の宝が元気に育つように、社会が大きく胎動して、若者にも老人にも元氣と夢と安心安全な社会をぜひ産み出していただくように期待したいものです。

飯山らしい教育を推進するため、みなさまのご協力をいただきながら中学校統合計画を実施し、4月に城北・城南中学校が開校いたしました。飯山城を中心として、北と南の方向を示した学校で教育環境を整え、それに併せて統合飯山高校がその中心に建つ、飯山の子どもの重要な柱としたこの体制は、市民のみなさんの生活がより盤石となり、悠久のふるさと飯山はどんな社会構造の変化があることも、未来に向かって夢づくりができることを確信しております。重要なアクセス道である中央橋も今年から工事が始まります。拓けていく飯山、すばらしい時代が必ずやってくる事を期待し自ら進んで新時代に対応するよう頑張りたいと思います。